

「浅口から日本を元気にする会」公開シンポジウム②

「1 次産業（農業・漁業）から浅口を元気にするには？」

日時：2025 年 6 月 21 日（土）午後 1 時～4 時

会場：浅口市健康福祉センター3 階 多目的ホール「シリウス」

オンラインでの参加も可能です

司会 吉川 重治

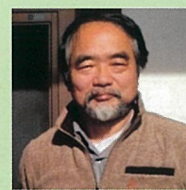
1. 基調講演「日本の 1 次産業の現状と課題・浅口では？」

NPO 法人「地域環境科学研究所」理事長・法政大学地理学教室 小寺 浩二

2. 各地域の現状と改善のための試み

(1)	鴨方・小坂	栗・小麦・蕎麦	<u>鴨方から日本を元気にする会</u>	大淵 秀実
(2)	鴨方・本庄	ペカン栽培		筒井 智
(3)	金光・農業	佐方・青空市場		荒木 新一
(4)	寄島・環境	アッケシソウ	<u>アッケシソウを守る会</u>	藤沢 福夫
(5)	寄島・農業	レモン栽培		交渉中
(6)	寄島・漁業	牡蠣・その他		交渉中
(7)	里庄・農業	マコモダケ		交渉中
(8)	特産品			

3. パネルディスカッション



<パネリスト(予定)>大淵秀実・筒井 智・藤沢福夫・荒木新一

4. コメント

5. 総括

6. 今後の活動 シンポジウム③ 9/20(土) 第2次産業＋特産物

シンポジウム④ 12/13(土) 第3次産業＋芸術・文化

★ オンライン参加はこちら

<https://hosei-ac-jp.zoom.us/j/84580791906?pwd=aWE5OjBHKXNlH5UfRDSugPhwx1b2sc04.1>

Meeting ID: 845 8079 1906 Passcode: 477324

★ 参加申し込み：できれば、以下のサイトから事前申し込みを。申込なしの当日参加も可能です

<https://forms.gle/THemYcoseZLoccnT7>

「浅口」には、浅口市だけでなく、浅口郡里庄町も含まれます

主催：「浅口から日本を元気にする会」 共催：「鴨方から日本を元気にする会」

協力：「里見川流域圏環境地域再生保全会議」 後援：浅口市・里庄町・笠岡放送・山陽新聞（申請中）

浅口活性化プロジェクト①＜設立記念シンポジウム報告＞

「どうやったら浅口はもっと元気になるか」と題した設立記念公開シンポジウムが **3/15(土) 午後2時～5時** に開催された。合計 **140名** (会場 120名、オンライン 20名) が参加し、基調講演に続きパネリスト5名の発表があり、ディスカッションでも多くの有益なご意見をいただき、栗山康彦浅口市長、加藤泰久里庄町長のコメントの後、予定時間ギリギリまで議論が続く内容の濃い会となった。アンケートでは、今後の開催に向けて前向きな改善点のご指摘をいただいた。

浅口活性化プロジェクト②＜阿部山お花見プロジェクト報告＞

4/5(土) 午前11時～午後2時、天気にも恵まれ出演者を含め **55名** の参加者があり盛大に開催された。「地域おこし」の話だけでなく、フラダンス・手品・ドジョウすくい・楽曲演奏など地域の方々主体の出し物もあり、歴史ある阿部山の地で、豊かな時間を共有することができた。

浅口活性化プロジェクト③＜地域を元気にする地区集会①（金光）＞

シンポジウムのアンケート結果を受けて、各小地域で企画している地区集会の第1弾として、「金光」地域を対象に、金光総合支所横の「占見新田コミュニティセンター」において、**4/4(金) 午後7時～9時** に地区集会を実施した。参加者は **11名** と少なかったが、金光町の居住者だけでなく、鴨方町や倉敷市玉島などからの参加者もあり、活発な意見交換が行われた。

④地区集会②（本庄）：**4/17(木)** 午後7時～8時半 長谷公民館 11名

⑤地区集会③（小坂西）：**4/18(金)** 午後7時～8時半 柏部公民館 15名

⑥地区集会④（六条院）：**4/19(土)** 午後7時～8時半 駅前公民館 15名

⑦地区集会⑤（寄島）：**4/20(日)** 午後2時～5時 ふれあい交流館 10名

浅口活性化プロジェクト⑨＜浅口から世界に発信する芸術・Art展①＞

シンポジウム・地区集会の結果を受け、浅口を拠点に活動する芸術家の作品や、市民の工芸品・芸術作品を集めた展覧会を開催する。シンポジウム②～④開催時に併設し、「浅口から世界に発信する芸術作品」の発掘と、地域の方々に知っていただくことを目的とする。回を追うごとに充実させていきたい。第1回は **6/21(土) 午前9時～午後5時 浅口市健康福祉センター**

★セメントアート：セメント系塗り付け左官アートとは、伝統的な左官技術を活用して、セメント系を使った美しい表現を追求する独自のアートスタイルです。日本の左官技術をアートに用い、セメントの無限の可能性を発信しています。セメント系塗り付け左官アートは、空間の雰囲気を変えたり、居住者や訪問者に特別な体験を提供する手段でもあります。

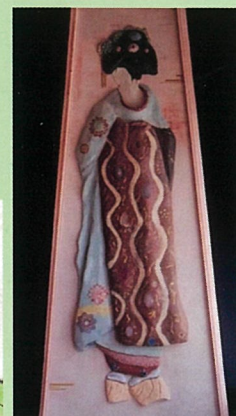
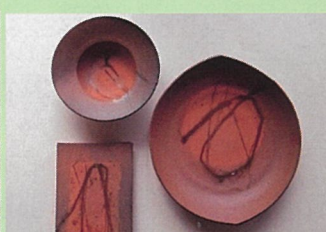
★再生ガラスアート：リサイクルガラスを使った地球にやさしいSDGsなアート

★絵手紙：季節の挨拶なしにいきなり本文を書く絵のある手紙でワクワクを贈る

★ちぎり絵：

★備前焼：

★つまみ細工：



主催：「浅口から日本を元気にする会」 共催：「鴨方から日本を元気にする会」

協力：「里見川流域圏環境地域再生保全会議」 後援：浅口市・里庄町・笠岡放送・山陽新聞（申請中）